

旧仙石原中学校跡地活用事業

事業者選定基準

平成 24 年 2 月

(平成 24 年 5 月 7 日変更)

箱 根 町

## 目 次

第 1	本書の位置づけ.....	1
第 2	事業者選定の概要.....	1
2.1	事業者選定方式.....	1
2.2	事業者選定方法.....	1
2.3	事業者選定の体制.....	1
第 3	審査方法 .....	2
3.1	応募登録書類に係る審査.....	3
3.2	事業提案書等に係る審査.....	3
第 4	優先交渉権者の決定.....	4
別紙 1	審査事項の詳細内容	

## 第 1 本書の位置づけ

旧仙石原中学校跡地活用事業に係る事業者選定基準（以下「事業者選定基準」という。）は、箱根町（以下「本町」という。）が旧仙石原中学校跡地活用事業（以下「本事業」という。）の実施にあたって、本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を選定するための方法及び評価基準等を示したものであり、事業提案募集要項と一体のものである。

## 第 2 事業者選定の概要

### 2.1 事業者選定方式

事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、本事業で対象とする既存施設等の活用（改修・維持管理・運営）、さらには事業者の自由提案による民間施設の整備・維持管理・運営について、募集要項等の要件との適合性、事業遂行能力や事業計画の妥当性、資金調達計画の確実性、リスク負担能力等、事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価し、優先交渉権者を決定するものとする。

### 2.2 事業者選定方法

事業者の選定は、「応募登録書類に係る審査」及び「事業提案書等に係る審査」により行うものとする。

「応募登録書類に係る審査」においては、応募者の資格、資力及び信用等、資格要件に係る適否について本町が審査する。また、「事業提案書等に係る審査」においては、まず、提案内容等が募集要項等の要件を満たしているか否かについて、本町が確認したうえで、「審査事項に係る評価」及び「提案価格に係る評価」を行う。

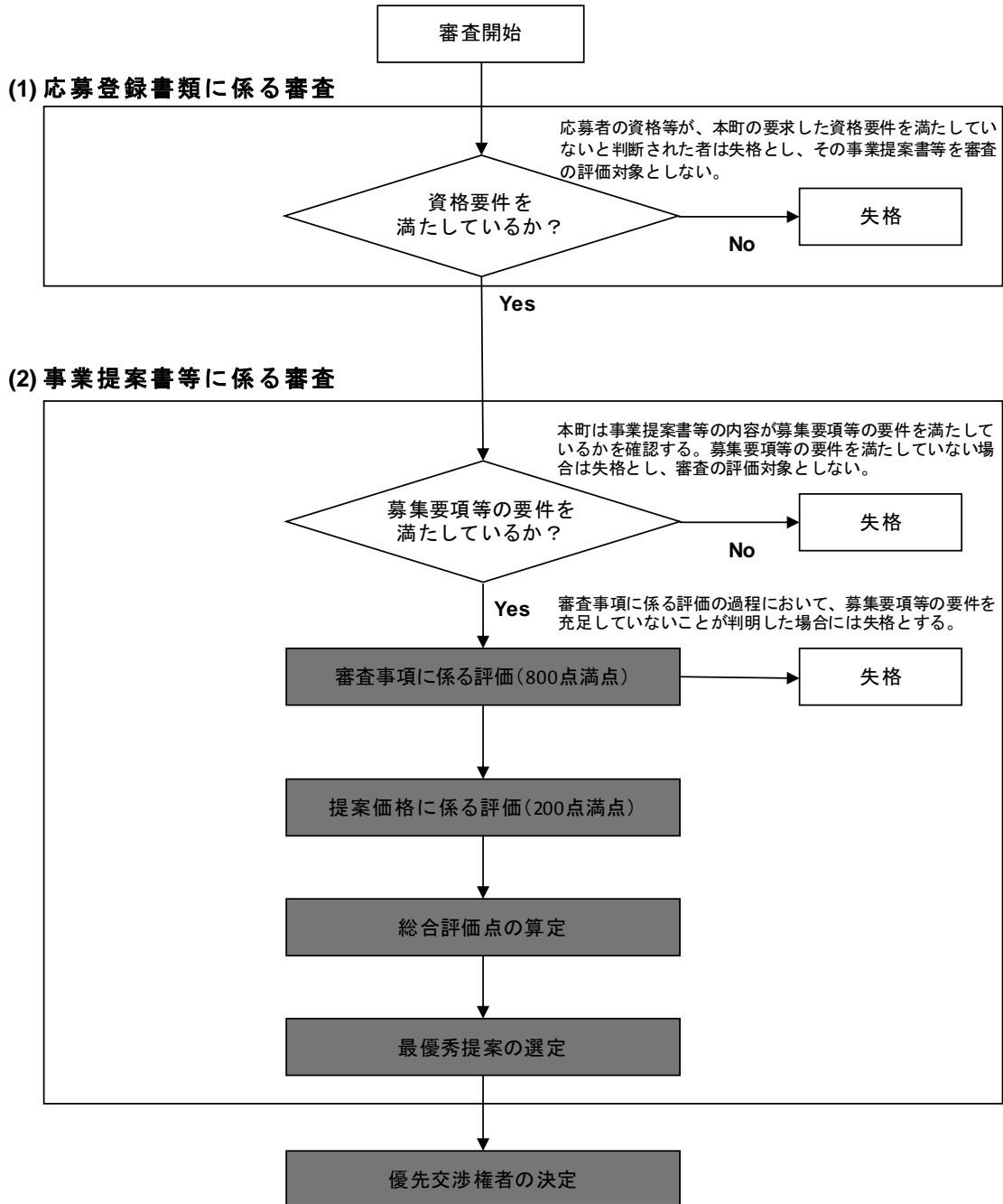
### 2.3 事業者選定の体制

「審査事項に係る評価」にあたっては、本町が設置した学識経験者等で構成する「旧仙石原中学校跡地活用事業事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）」が応募者から提出された事業提案書等の審査を行い、最優秀提案を選定したうえで、その結果を本町に報告する。

委員	羽田 耕治（横浜商科大学商学部貿易・観光学科教授）
委員	井門 隆夫（関西国際大学人間科学部経営学科准教授）
委員	内田 良雄（仙石原地域を代表する者）
委員	勝俣 昭彦（仙石原地域を代表する者）
委員	勝俣 正次（仙石原地域を代表する者）
委員	佐藤 章子（仙石原地域を代表する者）
委員	数馬 勝（箱根町副町長）
委員	勝俣 正志（箱根町企画観光部長）

### 第 3 審査方法

審査の手順は、次のとおりとする。



### 3.1 応募登録書類に係る審査

本町は、応募登録書類に基づき、応募者の資格、資力及び信用等、資格要件に係る適否について審査し、資格要件を満たしていないと判断した応募者は失格とする。

### 3.2 事業提案書等に係る審査

#### (1) 審査事項に係る評価

事業提案書等の内容が募集要項等の要件を満たしているか否かについて、本町が確認したうえで、事業者選定委員会が「審査事項に係る評価」を行う。具体的な提案内容の評価については、以下に示す審査事項ごとに加点比率の基準に応じて得点（加点）を付与するものとし、合計 800 点満点とする。審査事項の詳細については「別紙 1 審査事項の詳細内容」に示す。なお、「審査事項に係る評価」点の計算に当たっては、その合計点の小数点以下第 2 位を四捨五入するものとする。

また、この「審査事項に係る評価」の過程において、募集要項等の要件を充足していないことが判明した場合には失格とする。

審査事項	配点	備考
①旧仙石原中学校跡地活用計画全般に関する事項 (事業実施方針、実施体制)	160	配点の割合：800 点満点中 20%
②既存施設等の活用（整備・運営）計画に関する事項 (具体的な活用計画、事業スケジュール、事業遂行能力・実績、利用料金の設定、町民の利用時間)	240	〃 30%
③既存施設等の維持管理計画に関する事項 (維持管理内容、ライフサイクルコストの縮減等による地球環境への配慮)	80	〃 10%
④既存施設等の活用範囲に関する事項（定量評価）	80	〃 10%
⑤地域社会・経済への貢献 (地域の活性化、地域との連携・社会貢献、周辺の見込み集客数、経済波及効果等)	240	〃 30%
合 計	800	

#### 【加点比率の基準】

	評価水準	加点比率（評価点＝配点×加点比率）
A	非常に優れたアイデアやノウハウを発揮。	100%
B	優れたアイデアが盛り込まれている。	50%
C	可もなく不可もなく、極めて標準的。	0%
D	優れたアイデアも無く、提案としてレベルが低い。	-50%

